

## 全国高校ラグビー大会 猛追逆転ならず惜敗

12月27日(木)、近鉄花園ラグビー場において、第92回全国高校ラグビーフットボール大会が開幕しました。真っ赤なジャージー姿の和工フィフティーンの力強い行進にスタンドから大きな拍手が送られました。本校の一回戦は大会二日目の28日の金曜日、11時15分より第2グラウンドで福島県代表の福島県立平工業高等学校と対戦しました。冬の小雨が降りしきる中、試合開始。本校は相手校の大型FWに攻め込まれ必死に防戦しましたが2トライを奪われ、前半を0-10で折り返しました。しかし後半開始1分、相手のパスミスによるこぼれ球をウイングの河野壮真選手が拾い上げ独走してトライ、5-10としました。その後1トライを返され5-15となりましたが、後半の18分、本校はゴールライン付近でモールをつくり、そのまま押し込み、ナンバー8の鈴木涼平選手がトライ、主将の土岐克司選手のキックも決まり3点差まで追上げました。その後も攻め続けましたが無情のノーサイドの笛。結果12-15で惜敗しました。初戦突破はなりませんでしたが、チームの善戦に対しスタンドからは温かい拍手がおくられました。



## 三学期始業式

1月7日の月曜日、体育館にて三学期始業式を実施しました。最初に、小山宣樹校長より次のような内容の式辞がありました。「新しい年、平成25年が始まりました。一年の計は元旦にあり、という言葉がありますが、これは戦国時代の武将、毛利元就のことばに由来するものです。元就は三本の矢の故事でも知られていますし、サンフレッチェ広島ของทีม名もこの故事から来ています。さて元就は年の初めに一年のことをじっくり考える。それが本当の祝いというものであると考え、この言葉を残しました。今、私たちが一年後にどう自分になっているか考えてみたいと思います。また、私たちは4月から3月までを1年度としています。1月には残りの期間におけるよいスタートを切って欲しいと思います。世阿弥の花鏡に、初心忘るべからず、という言葉があります。入学したころの思い、クラブを始めた頃の思いを忘れない、また、進級した頃の思いを忘れないようにしたいものです。そこに至った苦労を忘れて日々の努力を怠ると、元に戻ってしまうからです。平成26年に本校は創立100周年を迎えます。そのポスターには、未来につなげ和工の伝統、と記されています。和工はどのような使命を持っているか、何を未来に伝えていくのかを皆さんと共に考えたいと思います。」その後、生徒指導部より諸注意があり、式を終了しました。

## きのくにロボット フェスティバル2012

12月16日(日)、御坊市立体育館で開催された「きのくにロボットフェスティバル2012」において、きのくに高校生ロボットコンテストに出場した本校のメカトロ技術部の3チームが、上位3位までを占めるという快挙をなとげました。1位は3年生部員の「大和大山丸」(イノベーション大賞も)、2位は3年生部員の「MT3」(アメージング大賞も)、3位は2年生部員の「ジェイソン壺」(ドリーム大賞も)でした。また当日は、二足歩行ロボット「ASIMO」のスーパーロボットショー等もあり、多くの参加者、観客で賑わいました。



## 吹奏楽部 ミニコンサート

12月19日(水)の昼休み、吹奏楽部が本校の中庭で「クリスマス・ミニコンサート」を開催しました。演奏された曲目は『アマンド ショクラ』『スリーダンス』『クリスマス ハッピー メドレー』でした。聴衆の生徒たちは、芝生の上や二階の渡り廊下等から拍手や手拍子で応えました。また、今回招待の方々にも来聴していただき、短い時間でしたが大いに盛り上がる昼休みとなりました。



## 2月の行事予定

4日(月) 12日(火) 22日(金)  
3年登校日  
21日(木) ~ 27日(水)  
学年末考査(1、2年)  
28日(木) 卒業式予行・大掃除

